

令和3年3月23日（火）

令和2年度3学期修了式校長講話

各地で桜の便りを聞かれるようになりました。

緊急事態宣言も先週で解除され、明日から春休みに入ります。開放的な気分になりがちですが、コロナとの戦いは来年度も続きそうです。今一度、気を引き締めて感染防止に臨んでほしいと思います。

さて、修了式に当たり、本日は、学校の将来構想について話をします。

1 現代は、予測困難な時代である

①自然災害、②新型コロナウイルス、③急速な技術革新など、世の中には予測が難しい課題が山積しています。このような時代を VUCA 時代ともいいます。(Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性)

2 こんな時代をどう生きてらいいの？

今、日本の教育に“先行きの見えない「予測困難な時代」「VUCA 時代」に求められる資質・能力とは何か？”ということが問われています。

その問いに対する答えが、2022年、再来年度から実施される学習指導要領に示されています。現在は、その移行期間に入っています。

3 学習指導要領が求めているものは？

指導要領が改訂される起点となったのが、PISA 調査です。直近の調査では、OECD36 か国中、今年の順位は数学的リテラシー6位、科学的リテラシー5位、読解力15位でした。

この調査で要求される学力は、単に習ったことをどの程度理解しているかということではなく、知識や経験を活用して実生活の様々な場面に直面する課題について主体的に考える能力が問われています。

世界で通用する学力（PISA 型学力）を伸ばすには、日本の教育も世界レベルへと変わらなければなりません。

4 新たな教育改革の中で越南はどこに向かうのか？

本校の校訓である「文武両道」の精神を基本にして、次の3つの方策を実施します。

○授業・探究による読解力向上

本校が、2022 新カリキュラムで成し遂げようとしていることの一つは、PISA 調査の課題でもある読解力の向上にあります。

○IT 活用による自学力向上

自学力をつけるためのアイテムとして ICT 活用や BYOD の推進を図っていきます。それによって自学力を向上させます。

○国際理解教育の推進

急速なグローバル化が進む社会で、必要になってくるのが英語力です。外国語科があることは本校の強みです。

5 自学力向上と部活動とのバランス

文武両道の「文」は、授業や家庭学習等自主学習、「武」は、特別活動（部活動や学校行事）です。自主学習時間を物理的に確保するために、来年度から完全下校時刻を変更します。

部活動を2時間で終了し、午後7時には完全下校とします。ただし、施設共有でローテーションを組まざるを得ない体育館の後半活動になった日は、20時15分に完全下校になります。その場合でも後半が始まる前には、部活ごとに1時間の学習時間を確保してください。

また、授業終了後の放課後の時間についても見直します。帰りのSHRは、試行的に1学期間実施しません。授業終了後に清掃はあります。それによって部活動や補習、進路対策などを早く開始させます。

6 学校の主役はあくまでも生徒です。

(1) 問いかけたいこと①

「Society5.0」の到来で様々なイノベーションが創出される時代です。職業や働き方、生活様式などこれまでの価値観が大きく変化してきています。

☛「今のあなたには、積極的に課題解決に挑み、意欲的に自分の未来を切り開こうとするエネルギーを持っていますか？」

(2) 問いかけたいこと②

世の中は一国だけで解決しないグローバルな課題に満ちています。その課題に挑もうとするなら、やはり身に着けた知識と経験がものをいう。

☛「今のあなたは、知識と経験の詰まった高性能のエンジンを持っていますか？」

最後になりますが、

ちょうど2年前の3月21日、マリナーズのイチロー選手の引退試合が東京ドームでありました。引退記者会見で「後悔や思い残したことは？」という質問にイチロー選手が「後悔などあろうはずがありません」と答えていたのが印象的でした。この後に続けた言葉は次のようでした。

「もちろん、もっとできたことはあると思います。結果を残すために、人よりも頑張ったとはとても言えないけど、自分なりに頑張ってきたことははっきりと言えます。それを重ねてきて、重ねることしか、後悔を生まないということはできないかなと思っています。」

イチロー選手はとても謙虚です。プロの世界で努力している人をたくさん見ているのかもしれませんが、ただ自分が頑張ってきた努力の一つ一つの事は、はっきり言えると言っています。後悔はないと言えるのは、努力を重ねていくこと、努力を続けていくことしか言えないことだとも言っています。イチローさんの言葉には重みを感じます。

高校生活の引退は、卒業だと思います。卒業式に、自分はこれを頑張ってきた、これを重ねてきたと、堂々と言える3年間であればいいですね。